

# お札になった 21人の偉人 なるほどヒストリー

監修・著／河合 敦

編／こどもくらぶ

2024年に発行されるお札の偉人  
(北里柴三郎、津田梅子、渋沢栄一)は  
どこにいる？

# お札になった 偉人たち 21人!

戦前 1881(明治14)年 神功皇后 日本初の肖像入りのお札



→p11~13, 16, 49

1930(昭和5)年 聖徳太子 のちに1000円札、5000円札、1万円札にも登場



→p9, 17, 19, 24, 25, 27, 37

1945(昭和20)年 日本武尊 やまと たけるのみこと



→p11, 12, 14, 15

1888(明治21)年 菅原道真 すがわらのみちざね 歴史上の人物 シリーズのスタート



→p17~19

1889(明治22)年 武内宿禰 たけうちのすくね



→p11~13, 19

戦後 1946(昭和21)年 二宮尊徳 にのみやそんとく



→p37, 57~59, 61

1948(昭和23)年 板垣退助 いたがきたいすけ 1953年に100円札の顔としても登場



→p17, 26, 27, 34

1890(明治23)年 和気清麻呂 わけのきよまろ



→p17, 19~21, 33

1891(明治24)年 中臣鎌足 なかとみのかまたり 日本でいちばん大きいサイズのお札



→p17, 19, 22, 23

1951(昭和26)年 岩倉具視 いわくらともみ



→p17, 28, 29, 33, 37, 41

高橋是清 たかはしこれきよ 発行後、50円硬貨の登場で、わずか4年で製造中止



→p17, 30, 31

## お札にまつわるQ&A

### お札のデザインはなぜかわるの？

お札のデザインがかわる大きな理由としては、偽造された紙幣(ニセ札)がつかられるのを防ぐことがあげられます。お札は毎日の生活に欠かせません。ニセ札が広く出まると、手にとってお金を信用で

きなくなったり、場合によっては被害を受けたりするなど、安心できなくなります。そうしたことを防ぐため、おおむね20年ごとに紙幣のデザインが新しく変更されています。

## お札にまつわるQ&A

### お札になぜ肖像画が使われる？

左記のように、お札は偽造されにくいことが重要です。肖像画(人物の顔)を使うのは、ニセ札を防止する(偽造しにくくする)のがねらいです。人間は、「顔」を認識する能力にすぐれているので、顔の

表情がわずかにちがっていても、すぐに気がつくといわれているのです。また、お札を使う人びとに親近感をもってもらうことも、肖像画を使う理由のひとつです。

1963(昭和38)年 伊藤博文



→p17、26~29、32~34、40、41

1984(昭和59)年 福沢諭吉

1984年、3種類のお札を同時に一新



→p35~37、49、54、55

2000(平成12)年 紫式部

2000円札はこの1種類のみで、流通量は少ない



→p43、46、47

2004(平成16)年 樋口一葉

2004年、3種類のお札を同時に一新



→p43、45、48、49

1984(昭和59)年 新渡戸稲造

夏目漱石



→p35、38、39



→p33、43~45、49

2004(平成16)年 野口英世



→p33、49、51~53、55、56

2024(令和6)年 北里柴三郎

2024年、3種類のお札を同時に一新



→p51、52、54~56

2024(令和6)年 津田梅子

神功皇后、樋口一葉に続く、3人目の女性の肖像



→p35、40、41

渋沢栄一



→p33、57、60、61

お札にまつわるQ&A

人物を選ぶ基準は？

現在、お札の肖像人物を選ぶ明確な基準はありませんが、注意点は下記のとおり。

- ①なるべく実在の人物で（写真が残っている）、業績があり知名度も高く親しみやすいなど、国民から尊敬され、日本を代表するような人物であること。
- ②偽造防止のため、なるべくはっきりとしていてこまかな写真や絵画を入手できる人で、かつ人の目を引く特ちょうのある顔であること。

以上の条件をもとに、国の役所である財務省、紙幣を発行する日本銀行、紙幣を製造する国立印刷局の3者で相談して候補を選び、最終的には財務大臣が決定します。

お札にまつわるQ&A

古いお札は使えない？

新しいお札が出まわってからも、これまでのお札は同じように使えます。一度発行されたお金は法令に基づく特別な措置がとられない限り、使えなくなることはありません。過去に3回発動された特別な措置は下記のとおり。

- ① 関東大震災後の焼失兌換券の整理（1927年）
- ② 終戦直後の新円切替（1946年→P15）
- ③ 1円未満の小額通貨の整理（1953年）

また、すでに発行されなくなったお札は、民間の金融機関が日本銀行の本支店の窓口で、現在発行されているお札とひきかえることができます。現在有効なお札については、日本銀行や財務省のホームページに掲載されています。

お札にまつわるQ&A

肖像画の位置は右側と決まっている？

銀行などでお札を勘定する際に、左手でお札を持ち、肖像と向きあうようにして数えるのが一般的なため、肖像画は表面の右側にえがかれるのがほとんどです。左側もありますが、肖像が確認しにくく不便との声が寄せられ、それ以降、肖像画が表面左側

にえがかれることはなくなりました。ただ、C5000円券の肖像は表面の中央です（→p17）。これは、1万円券と同じ聖徳太子が採用されたことで、同じような色調で同じような肖像を用いたふたつの券の区別を容易にするための工夫でした。

教育者

女性の地位向上こそ日本の発展につながるかと信じて、私塾をつくった津田梅子。女子高等教育の先駆者です。

# 津田梅子



見本

明治・大正・昭和時代

## 生い立ち 6歳でアメリカの小学校に留学

津田梅子は、幕末の1864年、東京（当時は江戸）の牛込南町に生まれました。1871（明治4）年、明治政府が派遣した岩倉使節団に同行する女子留学生5人のうちのひとりとして、アメリカに留学。



アメリカに渡った直後、7歳頃にワシントンで撮影。津田塾大学津田梅子資料室所蔵

元佐倉藩（現在の千葉県佐倉市）の藩士だった父・津田仙は、幕末に渡米した経験があり、計画を知って娘の梅子に応募させたのです。わずか満6歳、留学生のなかで最年少の梅子は、英語の単語を2、3語知っている程度でした。アメリカに渡った梅子は、チャールズ・ランマン夫妻のもとにあずけられました。夫妻の愛情を受け、梅子は聡明で誠実な人ながら成長。17歳までアメリカで過ごし、1882年、私立の女学校を優秀な成績で卒業し、帰国しました。

## 何をした？ 自立した女性を育てたい

帰国したのち、梅子は、日本とアメリカとで、女性に対するあつかいが大きくちがうことに落胆します。女性のための働き口がほとんどないことにも直面し、その原因は、女子のための高等教育が重要視されていないことにあると考えました。

幸い、伊藤博文のおかげで、華族女学校で英語教師をつとめることになりましたが、梅子は、さらに高等学問を学ぶために、アメリカのプリンマー大学（女子大学）へ3年間留学し、生物を学びます。大学の学部長から「大学に残って研究を続けなさい」と誘われますが、日本女性の教育を天命と信じて帰国。35歳のとき、女子英学塾（のちの津田塾大学）を設立し、女子の高等教育に力をそそぎました。



1889（明治22）年、プリンマー大学に入学した頃の梅子。津田塾大学津田梅子資料室所蔵

## こぼれ話① 岩倉使節団に同行した女子留学生たち

岩倉使節団では、当初は女性を送る予定はなかったが、欧米を視察した開拓使次官の黒田清隆が「すぐれた人材を育てるためには、教育のある母が必要だ」と政府に訴え、急遽、公募が決まった。このときの女子留学生には、のちに日本初の看護学校設立にかかわる大山捨松（旧姓、山川）や、ピアノを学び日本の洋楽教育に貢献する瓜生繁子（旧姓、永井）ら、その後、歴史に名を残す人物もいた。

## ここがポイント 女子高等教育の先駆者として活躍

日本では女性と男性の地位に大きな差があることに気づき、男性と共同して対等に力を発揮できる女性の育成に心血をそそいだ梅子は、1929（昭和4）年、64歳で亡くなります。しかし、没後も、彼女がつくった奨学金制度（日本婦人米國奨学金）で、1976年までに計25人の女性がアメリカ留学を実現。また、戦後、津田塾大学と名をあらためた女子英学塾は、女性初の東大教授や各分野の研究者、政治家などを輩出しています。このように、日本女性の地位を大いに向上させたという功績が認められ、梅子は2024年新札の肖像になったのです。



麹町区一番町（現在の東京都千代田区）に創設された女子英学塾（のちの津田塾大学）。入学生わずか10人という小さな学校だった。津田塾大学津田梅子資料室所蔵

## こぼれ話② オールラウンド・ウーマンをめざして

女子英学塾の開校式で、梅子は「大切なのは学校の設備ではなく、教師の熱心と学生の研究心だ」と語り、個に応じた少人数教育の利点を説き、英語教員になるための英語の修得にくわえ、オールラウンド・ウーマン、すなわち広い視野をもつ「全き（完全で欠けたところのない）女性」の育成をめざすと公言した。

生徒は原則、学校の寄宿舎に入れた。ひとつは、家事から解放して勉強に専念させるため。もうひとつは、教員が密に生徒に接することで、大きな影響をあたえようとしたのだ。梅子は生徒と朝食をともにし、土曜の夜は食事のあとにダンスをしたり、いろいろと語りあったという。



女子英学塾開校時の協力者たち。左から津田梅子、アリス・ベーコン、瓜生繁子、大山捨松。瓜生と大山は、岩倉使節団に同行した留学仲間。アリスは、アメリカ留学時、大山のホームシスターだった。津田塾大学津田梅子資料室所蔵

## 用語解説

いからしせつだん 岩倉使節団

1871（明治4）年、日本の近代化のため欧米に学ぼうと、右大臣の岩倉具視を団長として、海外視察に出発。使節団には、大久保利通など政府の中心人物や多くの留学生が参加していた（→p29）。

いとうひろふみ 伊藤博文

日本の初代総理大臣（→p33）。博文も、岩倉使節団に参加している。1883（明治16）年、梅子と再会。仕事を探す梅子を、英語指導や通訳のために伊藤家に雇い入れ、その後、華族女学校の英語教師に推薦した。

えいがくじゆく 女子英学塾

女性の高等教育をめざす私塾として1900（明治33）年に誕生。華族平民の区別なく、進歩的レベルの高い授業が評判をよぶ。

ふじん しょうがくきん 日本婦人米國奨学金

2度目のアメリカ留学中に、日本人女性の留学を受け入れるための寄付を募り、1891（明治24）年、「日本婦人米國奨学金」を設立。この制度を利用して留学した女性の多くが、教育指導者となった。

くろだきよたか 黒田清隆

1840~1900年。薩摩藩（現在の鹿児島県）出身。薩摩藩士として倒幕運動で活躍。明治政府の開拓使の次官（のち長官）となり、北海道の開発に力をそそぎ、札幌農学校（→p39）をつくる。伊藤博文のあと、1888年、内閣総理大臣になり、翌年、天皇は大日本帝国憲法を發布し、首相の黒田に授けた。

科学者

そんな伝染病の予防に生涯を捧げたのが、北里柴三郎です。

# 北里柴三郎

人類の歴史は、伝染病とのたたかひの歴史でもありません。

## 北 生い立ち 軍人志望から医学の道へ

北里柴三郎は、1853年、肥後国（現在の熊本県）の庄屋（村をまとめる役人）の家に生まれました。幼い頃から厳しい教育を受けた柴三郎ですが、当時流行した伝染病（コレラ）でふたりの幼い弟を亡くします。将来は政治家か軍人になりたいと思っていた柴三郎は、この経験から医師になることを決意。18歳のときに両親のすすめで熊本医学校（現在の熊本大学医学部）に入学しました。

## 熊 何をした? 世界的な研究者として偉業を成す

本医学校を経て、東京医学校（現在の東京大学医学部）を卒業したあと、内務省衛生局に勤務した柴三郎は、32歳のとき国費でドイツへ留学し、結核菌を発見したコッホに師事して破傷風菌の純粋培養に成功。破傷風の治療法を世界ではじめて確立し、その名はヨーロッパじゅうに知れわたりました。このためケンブリッジ大学やペンシルバニア大学から誘いがありましたが、「祖国の伝染病予防に寄与したい」と招きを断り、39歳のときに帰国しました。

しかし、柴三郎が伝染病研究所の設置をもとめても、政府の動きは鈍く、実現の見込みが立ちませんでした。途方にくれていた柴三郎を救ったのが、福沢諭吉（→p36）です。諭吉の援助を受けて、柴三郎は、私立の伝染病研究所を設立。伝染病に関する研究に取り組み、ペスト菌を発見するなど、伝染病の予防・治療に大きな貢献をしました。



ドイツ留学時代の北里柴三郎。この留学中に、柴三郎は破傷風の血清療法を確立した。

写真：学校法人北里研究所 北里柴三郎記念室所蔵

## ここがポイント 生涯にわたって感染症予防に力を尽くす

1914（大正3）年、伝染病研究所が文部省の管轄になったことから、柴三郎は、伝染病研究所をはなれ、私設の北里研究所をつくりまします。1917年には、慶應義塾大学部医学科（現在の同大学医学部）を創設し、初代医学科長に就任します。



1915（大正4）年12月、北里研究所の開所式であいさつをする北里柴三郎。

写真：学校法人北里研究所 北里柴三郎記念室所蔵

「近代日本医学の父」とよばれる柴三郎は、「予防医学」を重視し、日本の医学を大きく発展させました。第1回ノーベル生理学・医学賞の候補にも名前があがったといわれています。

みずからの研究に打ちこむだけでなく、研究所など多くの機関を創設し、志賀潔、野口英世（→p52）などのすぐれた医学者を多く指導するなど、柴三郎の医学の発展への貢献は、たいへん大きなものがありました。北里研究所は、伝染病の予防と治療に大いに寄与し、現在も多くの人命を救いつづけています。

2024年、柴三郎は新1000円札の顔になりますが、これまで見てきたように、かれが生涯にわたって感染症予防に力を尽くしてきたことが評価されたのです。長年親しまれた福沢1万円札の姿は消えますが、かわって北里1000円札が登場するのは、不思議な縁ともいえそうです。

## こぼれ話 福沢諭吉と北里柴三郎の友情

柴三郎が伝染病研究所を設立できたのは、福沢諭吉の援助によるものだった。諭吉は、「柴三郎は学問のために大切な男だ」といって、柴三郎を応援した。だから晩年、諭吉が脳出血でたおれると、柴三郎は、みずから主治医を選んで治療体制をととのえた。再発後、諭吉が死去したときには、ひどい落胆ぶりだった。

伝染病研究所は、1899（明治32）年に内務省の所管となったが、大隈重信内閣は、行財政整理の一環として、所長の柴三郎に相談なく、研究所を東京帝国大学（現在の東京大学）医学部に附属させることを決めた。政府の都合で大学の附属にされることに柴三郎はがまんならず、諭吉への恩義が深い研究所をはなれ、私設の北里研究所を立ちあげた。

その後、慶應義塾大学部医学科の初代医学科長となり、みずから陣頭に立って学生を指導したが、医学科長としての報酬は一切受けとらなかった。慶應義塾大学の創設者は、福沢諭吉。諭吉が柴三郎に施した大恩を、柴三郎は、諭吉の死後、たしかに返したのだ。



熊本県小国町の北里柴三郎記念館にある、柴三郎の胸像。

## 用語解説

### 内務省

1873~1947年まで存在していた日本の行政機関。初代内務卿・大久保利通のもとに創立され、内務行政に関する最高の行政官署として、大蔵省と並んで中央政府に君臨した。

### 北里研究所

北里柴三郎が私費を投じてつくった研究所。1918年には社団法人として認可され、官立の研究所に対抗した。1941年に學術研究機関として文部省および厚生省所管許可。1962年には学校法人北里学園を創立し、北里大学を設置。2008年、社団法人北里研究所と学校法人北里学園は統合し、学校法人北里研究所になった。

### 志賀潔

1871~1957年。日本の医学者・細菌学者。伝染病研究所で北里柴三郎に師事。1897年、赤痢菌を発見。1901年ドイツに留学してエールリッヒのもとで化学療法の研究を続け、帰国後、北里研究所の創立に参画。

### 大隈重信

1838~1922年。肥前藩（現在の佐賀県）出身の政治家。明治政府では財政面の責任者として活躍。立憲改進党をつくり、外務大臣として条約改正にかかわり、さらに内閣総理大臣を2度つとめた。また、東京専門学校（現在の早稲田大学）を創立。

# このお札の顔はだれ??

お札の顔になるのは、ある分野で大きな成果を手にした人物で、国民に知られ支持されている人たちです。ここでクイズです。ヒントの人物は何番のお札の人でしょう？

ヒント

## ベンジャミン・フランクリン

雷を用いた実験で、雷が電気であることを明らかにした。科学者・発明家でもあり、政治家としても活躍。  
アメリカ100ドル紙幣

## キュリー夫人

夫とともに研究に励み、ラジウムを発見、2度のノーベル賞を受賞。  
フランスの500フラン紙幣

## ガンジー

インド独立の父。暴力に訴えず、不当な命令には従わないという「非暴力・不従運動」を率いた。  
インドの100ルピー紙幣

## バスコ・ダ・ガマ

ポルトガルの大航海者。ポルトガルからインドへの航路を開拓した。  
ポルトガルの5000エスクード紙幣

## サン・テグジュペリ

フランスの作家であり、飛行家。『星の王子さま』の作者としてよく知られている。  
フランスの50フラン紙幣

## グリム兄弟

『グリム童話集』の編集者として知られる、ヤーコプとヴィルヘルムの兄弟。  
ドイツの1000マルク紙幣

ヒント

## ネルソン・マンデラ

「アパルトヘイト」という人種差別政策を廃止させ、のちに大統領となり、国をかけた偉人。  
南アフリカ100ランド紙幣

## クララ・シューマン

ドイツ全域に天才少女としてその名を知られた、19世紀最高の女性ピアニスト。  
ドイツの100マルク紙幣

## ラファエロ・サンツィ

ルネサンス三大巨匠の画家のひとり。レオナルド・ダ・ヴィンチとミケランジェロよりも高額紙幣の顔。  
イタリア50万里ラ紙幣

## アストリッド・リンドグレーン

『長くつ下のピッピ』の作者。日本円であれば、子どもたちも使う250円くらいのお札に登場。  
スウェーデンの20クローナ紙幣

もっと知りたい!

### 「時代に認められなかった偉人」



2021年に発行されるイギリスの新50ポンド紙幣の肖像に、コンピュータ科学の先駆者で暗号解読者のアラン・チューリング(1912~1954年/写真上)が採用されることが明らかになった。チューリングは、「人工知能の父」ともよばれ、第二次世界大戦中、ナチス・ドイツの暗号解読に多大な役割を果たし、連合国の勝利に貢献した人。当時、違法とされていた同性愛を理由に有罪判決を受けたという過去をもっている。イングランド銀行では、「イギリスの偉大な歴史上の人物がいかに多様性に富んでいたか」を世に知らしめるような紙幣づくりをめざすと公言している。



※ここに掲載されているのは、これまでに各国で発行された紙幣です。現在では使われていないものもあります。また、フランス、イタリア、ドイツなど、自国通貨をやめ、EUROを使用している国もあります。